

胃癌周術期の栄養管理についての調査研究

・はじめに

九州大学病院では、最新の治療を患者さんに提供するために、病気の特徴を研究し、診断法、治療法の改善に努めています。このような診断や治療の改善の試みを一般に「臨床研究」といいます。その一つとして、当消化器・総合外科（第二外科）では、現在あなたのような胃がんの患者さんを対象として、胃がんの手術の前後の栄養管理に関する「臨床研究（調査研究）」を行っています。

現在の胃がん治療のガイドラインには手術後の何日目から食事を開始するのがよいかなど、具体的な栄養管理に関する方法が記載されていないため、医療機関によって、手術後の栄養管理方法が異なると想定されます。また、各医療機関での詳しい手術後の栄養管理状況を調査した研究結果の公表はほとんどされていないため、本研究では、患者さんの状態、手術内容や手術前後の栄養管理状況の実態を多施設で調査することにより、患者さんにとって最適な胃がん術前、術後の栄養管理の標準化のための研究です。

・対象

胃切除術を施行され、選択基準に合致し、除外基準に抵触しない胃癌患者さんを原則的に全例対象とします。

対象期間：胃切除術が 2012 年 1 月 1 日～2018 年 6 月 30 日

目標症例数：九州大学は約 30 症例

1. 選択基準

以下の基準をすべて満たす患者さんを対象とします。

- 1) 胃切除術（幽門側胃切除術、胃全摘術）を施行の胃癌患者さん
- 2) 手術時20歳以上の患者さん

2. 除外基準

以下のいずれかに抵触する患者さんは本調査研究の対象除外とします。

- 1) 緊急手術により、胃切除術を施行の胃癌患者さん
- 2) 胃切除術前に化学療法を施行した胃癌患者さん
- 3) 栄養に関する臨床試験もしくは治験に参加中の患者さん
- 4) その他、研究担当医師が不相当と判断した患者さん

対象者となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡下さい。

・研究内容

この研究では、九州大学病院消化器・総合外科（第二外科）に胃がんで入院された患者さんで、胃切除術時に 20 歳以上の患者さん、約 30 名を対象とさせていただきます。

この研究を行うことで患者さんに日常診療以外の余分な負担が生じることはありません。

・個人情報の管理について

個人情報漏洩を防ぐため、九州大学大学院医学研究院消化器・総合外科においては、個人を特定できる情報を削除し、データの数字化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取り、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。

また、本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

・研究期間

研究を行う期間は承認日より 2017 年 6 月 30 日まで

・医学上の貢献

本研究により被験者となった患者さんが直接受けることができる利益はありませんが、将来研究成果は患者さんにとって最適な胃がん術前、術後の栄養管理の標準化のための基礎資料を得ることになり、多くの患者さんの治療と健康に貢献できる可能性が高いと考えます。

・研究機関

研究事務局

研究責任者：九州大学大学院医学研究院 消化器・総合外科学分野（第二外科）
教授 前原 喜彦

研究分担者：九州大学病院消化管外科（2）助教 沖 英次

共同研究機関 研究統括施設

東京大学医学部附属病院 胃食道外科 教授 瀬戸 泰之（研究代表者）

東京大学医学部附属病院 胃食道外科 准教授 清水 伸幸

共同研究機関

東北大学病院 胃腸外科 准教授 柴田近

仙台市医療センター仙台オープン病院 外科 副院長 土屋誉

国際医療福祉大学病院 外科 教授 鈴木裕
東京大学医学部附属病院 手術部 准教授 深柄 和彦
帝京大学医学部附属病院 外科 教授 福島亮治
がん研有明病院 消化器外科 副院長 山口俊晴
大阪大学医学部附属病院 消化器外科 教授 土岐祐一郎
鹿児島大学病院 心身医療科 教授 乾明夫
東京慈恵会医科大学 分子疫学研究室 准教授 浦島充佳（データ解析施設）
イーエヌ大塚製薬株式会社 応用研究室 勝又 弘治・松浦 瑛子

この研究の連絡先：九州大学病院消化管外科（2）助教 沖 英次
電話：092-642-7059（外来）（平日 8：30～17：00）
092-642-5473（病棟）（夜間・休日）